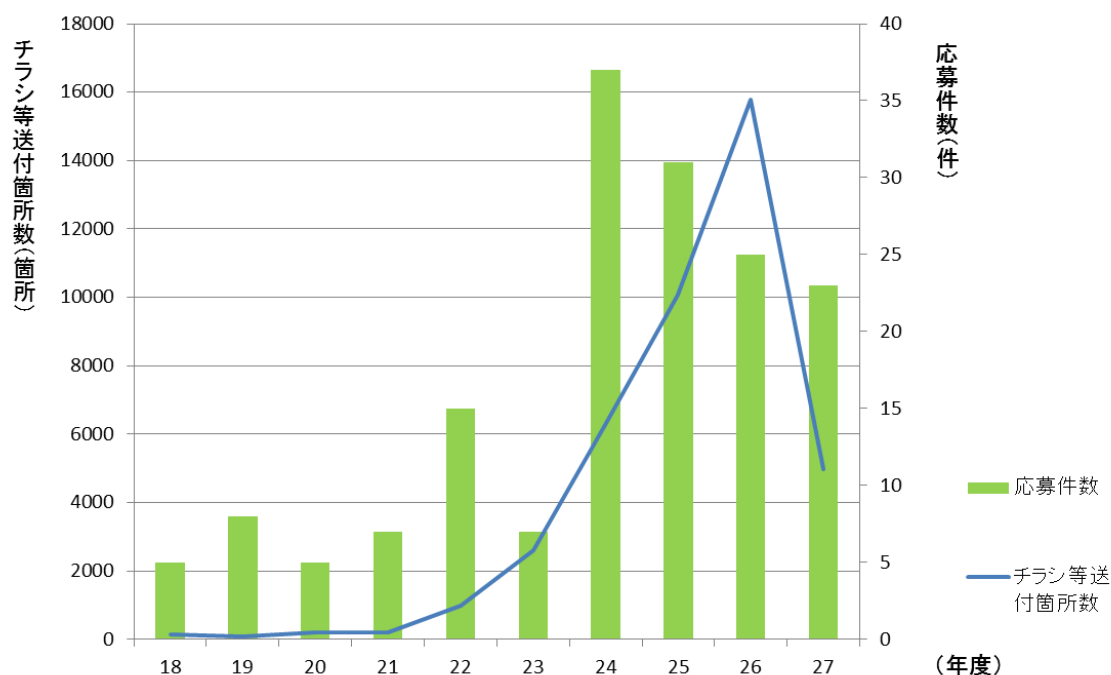


第11回（平成28年度）「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 周知方法について（案）

I. コンセプト：みどり香る企画の充実

平成26年度のキャッチフレーズ募集、平成27年度の10周年記念事業と、ここ2年ほど企画コンテスト本体以外の募集にも注力したが、平成28年度はより良いかおり環境の普及という企画コンテスト募集の意義に立ち返り企画コンテストに集中し、応募件数の増加を目指したい。



II. 周知方法

○平成27年度の周知の状況について

平成27年度は、平成26年度まで反応の良かった業界に絞り、チラシの送付先を3分の1程度（約5,000箇所）に整理して効率的な周知を図った。チラシ送付先は、地方公共団体の広報部局、農業・園芸学校、指定管理者等。「国際バラとガーデニングショウ」等、イベントでのチラシの配布も行った。

その他、コンテストにご関心がありそうな団体へ、ホームページの掲載、メールマガジンの配信等を依頼した。

受賞者アンケートによると、地方公共団体からの周知でコンテスト応募に繋がったケースが多い。

○平成28年度の周知について

従来から様々な広報活動を行ってきたものの、ここまではチラシの送付がメインとなっていた。平成28年度はより効果的な周知方法を検討したい。

そこで、他コンテスト実施団体との打合せ等を行い事務局として検討した結果、チラシの送付、雑誌への掲載、イベントでの周知に加え、事務局による地方公共団体や各種取りまとめ団体担当者との面談を中心として、広報活動を行っていくこととしたい。

周知方法強化案

- ・ 地方公共団体、共催団体の関係団体、公園等指定管理者の取りまとめ団体への周知（面会または電話による広報の相談）を手厚く行う。
- ・ 上記周知先から、地域のハブ（広報協力者）となる得る方をご紹介いただく。
- ・ 受賞アンケートでは、広報誌地元の地方公共団体の広報誌に掲載された記事をきっかけに応募された件が見受けられた。地方公共団体に周知を行う際に、広報誌原稿案を併せて送付し、広報誌に掲載していただきやすくする。
- ・ 過去受賞者が運営しているホームページ等に掲載を依頼する。
- ・ 市に対して「市の花を用いることができます。」、農業高校に対して「苗・苗木の植樹・手入れ等について、授業の一環としていただくことができます。」等、周知の受け手にとって自らとの具体的な接点を明確にした広報を心掛ける。